

テトリスの研究

千葉龍朗

芝浦工業大学 数理科学研究会

令和元年 5 月 19 日

はじめに

テトリスは、日本で 1985 年に GB 版が出て以来、多くの人気を博している。また、テトリスの遊び方も進化し、相手に勝つには様々な戦術で対抗する必要がある。その戦術を機械に解かしてみたいと思い、本研究を始めた。まずは理論からかためていく。また、今回は Nintendo Switch でできる「テトリス 99」のルールに沿って研究する。

テトリスを数学的に表し, 落ちてくるミノを自動で積む機械を作る.

テトリスのルール

4つの正方形をくっつけてできる塊をテトリミノや、単にミノとよぶ。ミノには以下の7種類がある。

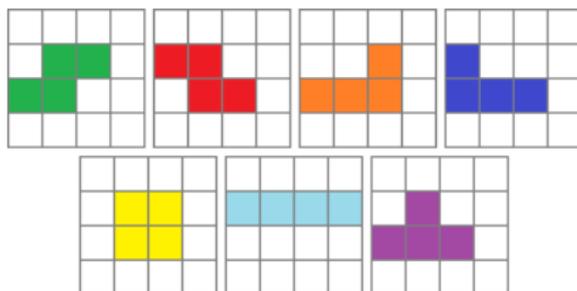


Figure: 1

これらのミノを 20×10 のフィールド上に積み重ねてゆく。

基本的なルールは省略する. 注意する点は落ちてくるミノの位置である (動画) .

これらのルールを踏まえ、次のように考えた.

n を自然数, $a = 0, 1, 2, 3$ として, $(F_{n-1}, (m_n)_a, p_n)$ が以下の条件を満たすとき, $(F_{n-1}, (m_n)_a, p_n)$ をテトリス空間と呼ぶ. ここで, 考察を簡単にするために行列の左下を $(1, 1)$ 成分, 右上を $(24, 10)$ 成分とする.

- (i) F_n は 24×10 行列で, 各成分は 0 か 1 の集合である. ただし, F_0 は成分がすべて 0 の行列.
- (ii) $(m_n)_a$ は 4×4 行列で, 各成分は 0 か 1 である. m_n は 7 つのミノの形, a は右回転する回数を表す.
- (iii) p_n は 24×10 行列で, 各成分は 0 か 1 である. p_n は次のようにして決定される.

F_n において, (i, j) 成分を $(F_n)_{i,j}$ とかく. $(F_n)_{i,j} = 0, (F_n)_{i+1,j} = 1$ または $(F_n)_{0,j} = 0$ を満たす $(i+1, j)$ 成分を考える. この成分が一つでも含み, かつ (F_n) の成分が 0 である 4 つの成分の部分に $(m_n)_a$ の 1 の部分のみを置く. こうして置かれる $(m_n)_a$ の部分の成分を 1 , それ以外を 0 とし, それを p_n とする.

- (iv) $p_n + F_{n-1} = F_n$ とする.

テトリス空間

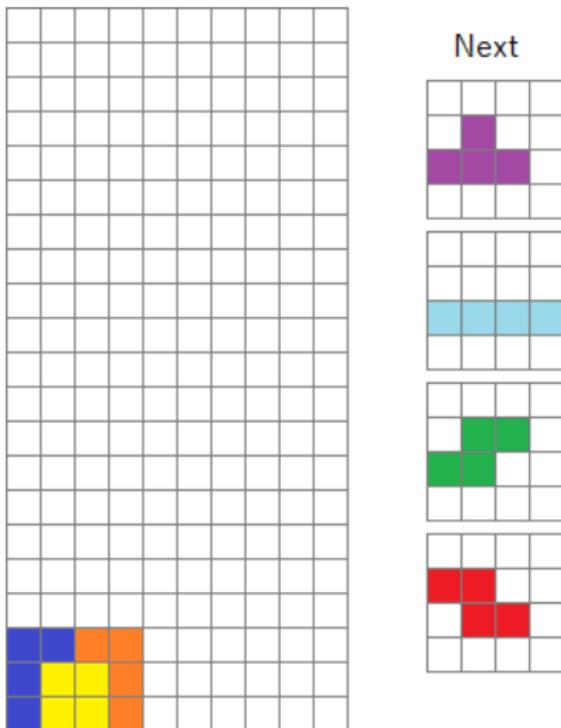


Figure: 2

テトリス空間

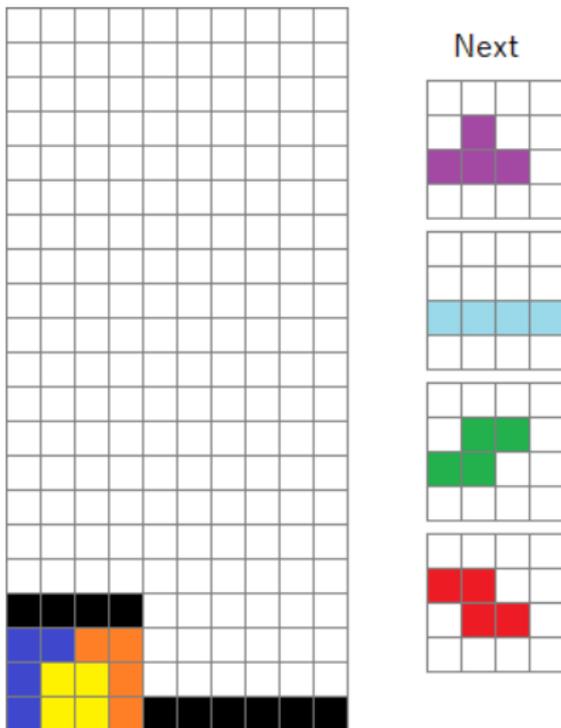


Figure: 3

テトリス空間

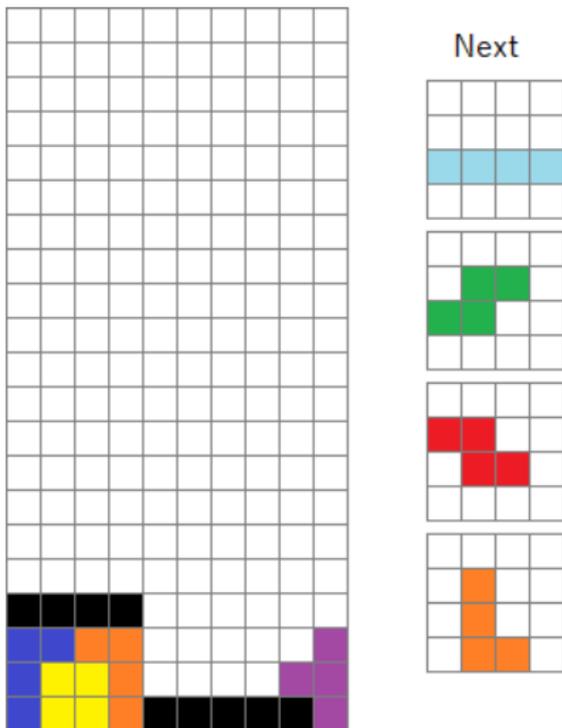


Figure: 4

テトリス空間

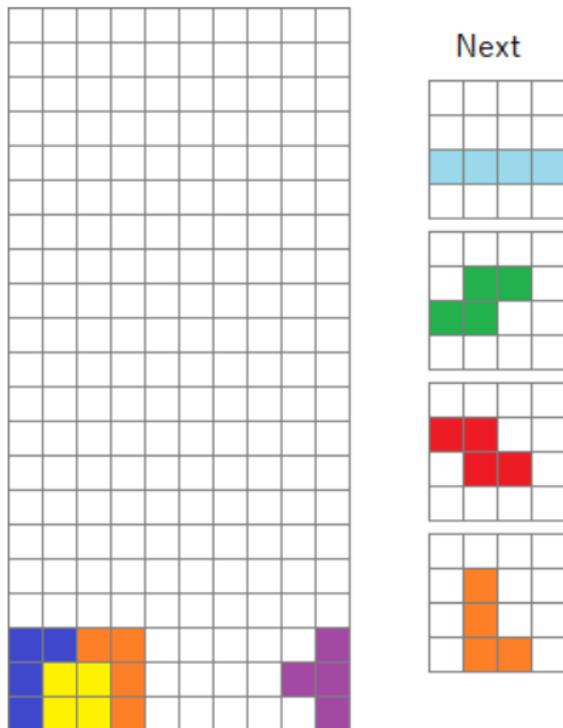


Figure: 5

テトリス空間

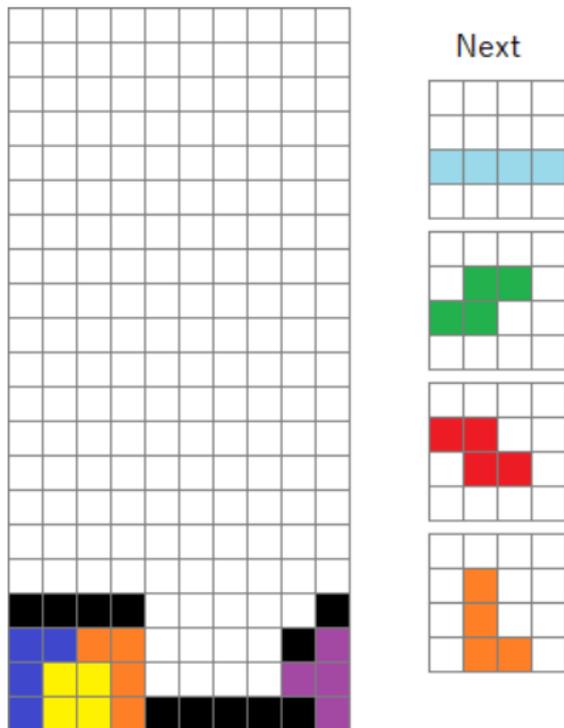


Figure: 6

テトリス空間

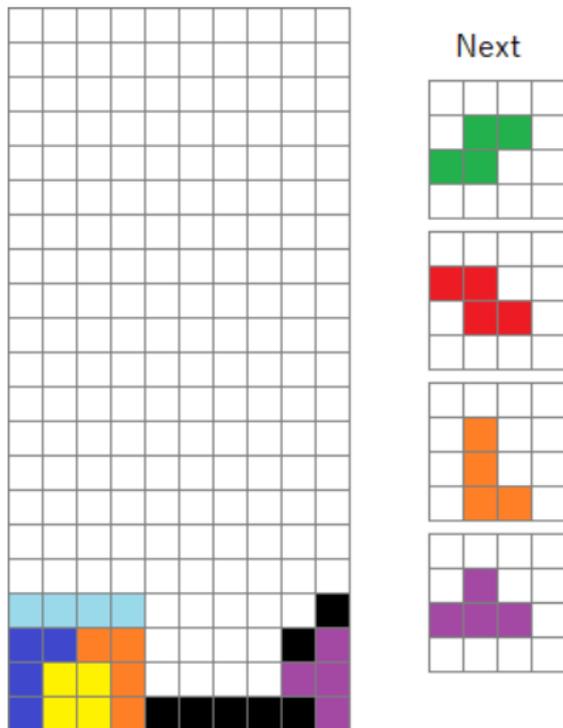


Figure: 7

テトリス空間

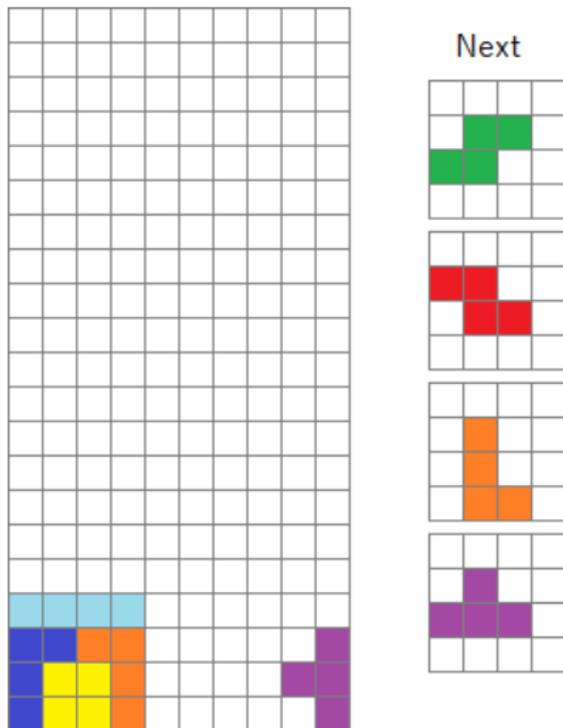


Figure: 8

テトリス空間

$$p_n = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

テトリス空間

$$P_{n+1} = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

テトリス空間

$$F_n + p_{n+1} = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} = F_{n+1}$$

この空間において, F_n は n 番目のミノが落ちてきたときのフィールドの状態, m_n は各ミノ, つまり $m_n = s, z, j, l, i, t, o$ であるので, $(m_n)_a$ の数は 28 である. ただし, 回転した後の形を区別しない場合は $s, z, i = 2, j, l, t = 4, o = 1$ より 19 である.

F_n を 24×10 行列にした理由は, 図 1 のような積み方を考慮したからである. 目に見える範囲ではフィールド上には 20 行まで詰めるが, 真ん中に積まなければ理論上はどんな高さにも積める. だが, そのような範囲まで考えてもあまり意味はないので, 少し増やして 24 行にした.

テトリス空間

この空間には不十分な点がある. それは, 空洞に対してもミノを置けると
いう点である.

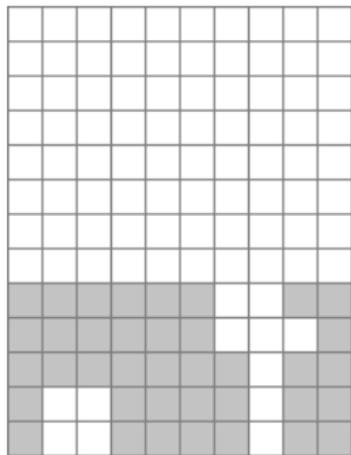


Figure:

先述した問題点を解決し, そのうえでパーフェクトやTスピンなどについて考えていく.

なし!